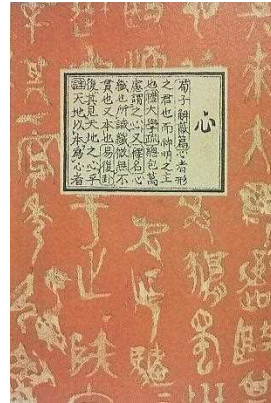


【講座名】

# 夏目漱石『ころ』の世界

— 青年たちの修養と恋愛 —



夏目漱石の小説には、明治という新しい時代の中で自己を確立するために苦闘する青年たちが、数多く描かれています。本講座で読む『ころ』で描かれるのは、哲学的な思考で人生を探究する明治のエリート青年たちです。彼らが「気高い」ものとして自己実現のために尊んだのが「修養思想」でした。また、当時、西洋から輸入されたばかりの新しい「恋愛」の考え方も、彼らにとっては「気高い」ものでした。青年たちと時代の関係や、彼らの生き方そのものを相対化する新しい思潮の胎動など、『ころ』には、多様な読解の切り口があります。今回は「修養」と「恋愛」の二点に焦点を絞って、漱石が趣向を凝らして構築した『ころ』の小説世界の魅力を紹介していきたいと思います。

10:00～12:00	自意識に翻弄される男たち—後期三部作の系譜
	漱石直筆原稿から読み解く『ころ』の神髄
	Kや先生が尊んだ修養思想と明治の「煩悶青年」
	翻訳語「恋愛」の流行と明治の青年たち
	北村透谷「厭世詩家と女性」の衝撃
	先生の厭世観と「純白」への希求

開講日：2023年9月14日(木)

時間：10:00～12:00

受講料：無料

募集人数：20名 一般対象（抽選）

開催場所：豊田産業文化センター

講師：山口比砂（一般学科 准教授）

共催：豊田市 後援：豊田市教育委員会